

平成26年度  
携帯電話とインターネット利用環境実態調査  
調査結果の概要

長南町立長南中学校  
平成26年7月3日

## 1. 調査目的

平成26年度長南町立長南中学校生徒対象に、携帯電話とインターネットの利用実態や意識等について調査を実施し、以下の教育を推進するための基礎資料を得ることを目的とします。

- ① インターネット・携帯電話の安全な利用に関して情報モラル教育の推進する。
  - ・ インターネット・携帯電話の使い方による光と影
- ② LINEやTwitterの使い方における「書き込み」の内容がもたらすトラブルについての学習をすることで、いじめの未然防止対策と道徳教育の充実に役立てる。
- ③ 長南中学校の生徒の携帯電話とインターネットの利用実態を明らかにし、家庭における経済的負担と学習にもたらす影響を考察する。

## 2. 調査方法

- (1) 調査学年：長南中学校1～3年 172名対象  
回収 1年 54名  
2年 58名  
3年 52名 計 164名  
回収率 95.3%
- (2) 調査期間：平成26年6月17日～6月23日
- (3) 調査方法：生徒へのアンケート調査(無記名)

## 3. 調査内容

携帯電話の使用と所有者	4	ネット上の経験と興味	11
携帯電話を所有し始めと携帯の種類	5	ネット上のいじめとトラブル	12
携帯電話の支払いと利用料金	6	セキュリティー対策とフィルタリングの使用状況と必要性	13
携帯電話で使う機能	7	家庭でのパソコン所有状況	14
メール(LINE)の時間帯と相手	8	家庭でのパソコン利用時間	15
携帯からのインターネットアクセスと使用上の不安	9	パソコン利用目的	16
携帯使用上の保護者との約束ごとと実際に経験していること	10	携帯を持たない人の意識	17

#### 4. 調査結果概要

- 携帯使用率は学年が上がるにつれ増加。中3では80%を超える。男女別ではすべての学年で女子の所有率が高い。
- 携帯を待ち始めたのは小学校6年から中学1年にかけて急増 携帯の種類は9割がスマートフォン
- 携帯料金の支払いほとんどが親、使用料金は知らない生徒が6割弱
- 携帯の使う機能として今一番多いのはLINE、インターネット、ゲームなどインターネットメッセンジャーと趣味への活用
- 問題は1日平均の使用回数・・・30回以上のやりとりは40%超え
- メール(LINE)をやる時間帯は広い。メール(LINE)相手は学年が上がるにつれ、家族から友人へ。
- 携帯を使ってのインターネットアクセスをしている生徒は92%。その時間は30分から1時間、1時間から2時間で50%を超える。携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」が半数以上。
- 携帯の使用上で保護者との約束ごとで3人に1人は「特になし」と回答。使う時間帯の約束は25%「危険サイトアクセス」は約47%。しかし、「悪口や傷つくことの手紙書きこみ」では2年生1/3が経験している。交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意が必要！ネット上で知らない人との会話に対し興味を持っている生徒は1、2年生で20%。会ったことのある経験は2%(2人)いる。
- ネット上でいじめを受けた経験は全体では5%であるが、2年生がやや多い。友だちとのトラブルになった経験も全体では10%弱であるが、2年生は20%を超えている。
- ネット上でセキュリティ対策を講じているのは「ソフト」「暗唱番号」「ロック」すべて4割台。対策をしていないのは6名。フィルタリングについては36%がわかっていない。
- 家にパソコンがあると回答した生徒は全体の83%。うち7%は生徒所有である。
- パソコンの利用時間は携帯を所有している生徒の方が時間が長い。2年生はパソコンの利用率は他学年に比べ低い。
- パソコンの利用目的は様々であるが、携帯の所有の有無に関わらず、情報収集に利用することが多い。学習ではE-ライズの活用を推進しているが、あまり活用されていない。
- 携帯を持っていない生徒の30%程度しかその必要性を感じていない。持たない理由は、「親が持たせてくれない」「お金がかかる」ことが主な理由である。

#### 5. 調査結果に基づき、今後の4点の指導ポイント

##### ポイント1

中学生であるので、携帯料金にかかる親の経済的負担を知ることが大切である。「わからない」と答えた生徒には、今月いくらかかったかを教え、また、パソコン等の通信料とあわせた金額について伝えていただきたい。

もし、可能であれば家計の中の通信料と教育費等についても話しあってみてはどうだろうか。

##### ポイント2

「生活のリズム」「学習への影響」「犯罪やトラブルに巻き込まれない」ために保護者との約束ごと、取り決めは不可欠！道徳教材「いつのまに・・・」を使っての学習や学級指導で携帯の「光と影」についての学ばせる必要がある。

##### ポイント3

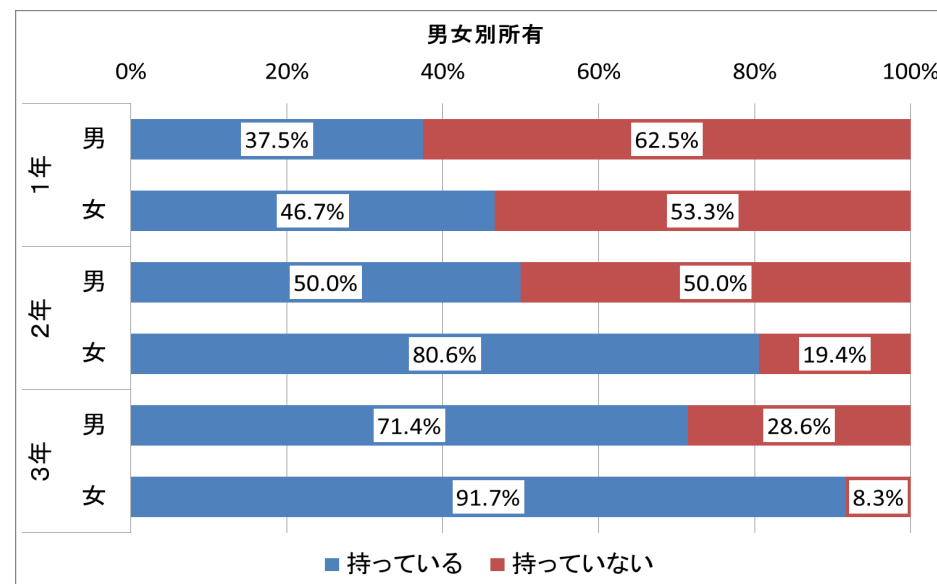
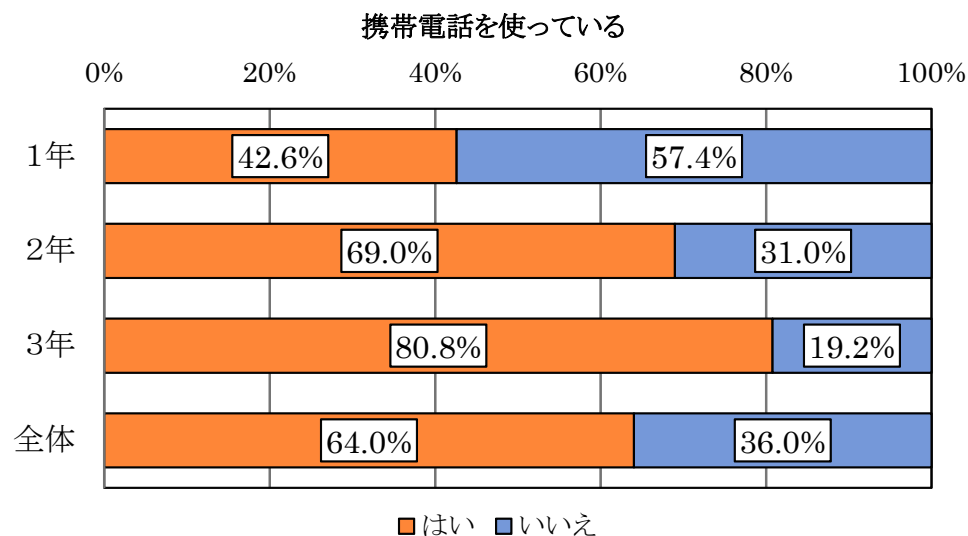
携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれていることについては指導していかななくてはならない。

##### ポイント4

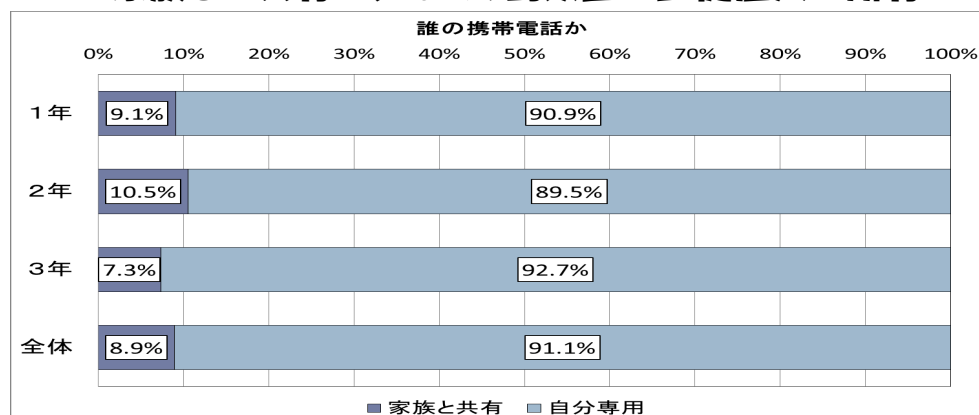
ネット上のいじめについては早急に教育相談で確認をしなければならない。また、トラブルになった内容や原因について、教育相談や生徒指導部会を開いて確認する必要がある。

# 携帯電話の使用と所有者

携帯使用率は学年が上がるにつれ増加。中3では80%を超える。男女別ではすべての学年で女子の所有率が高い。



## 家族との共有は少なく9割以上が生徒個人が所有

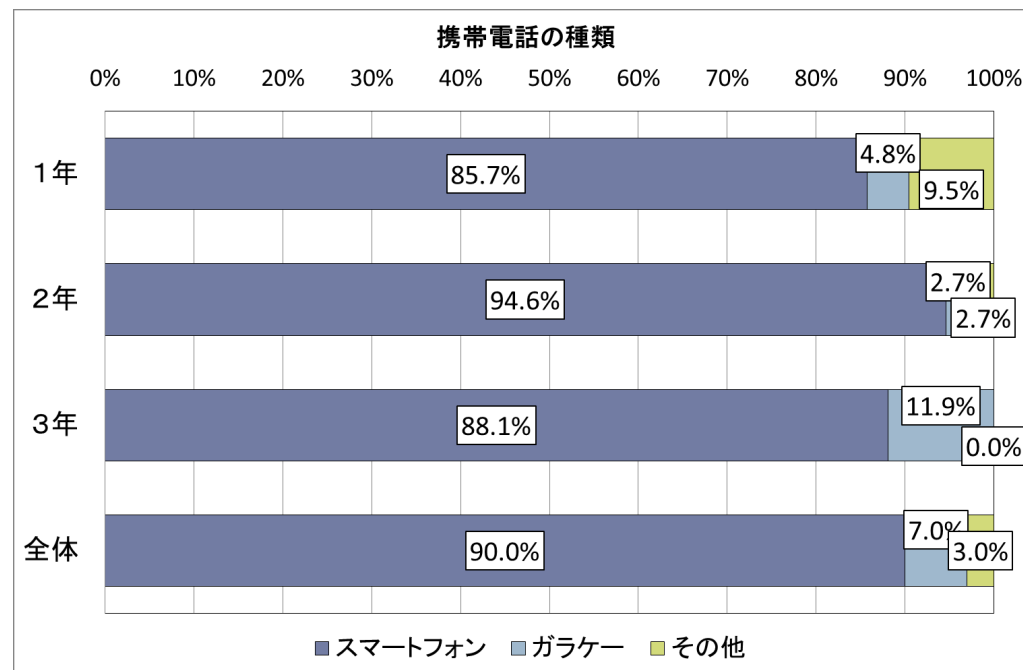
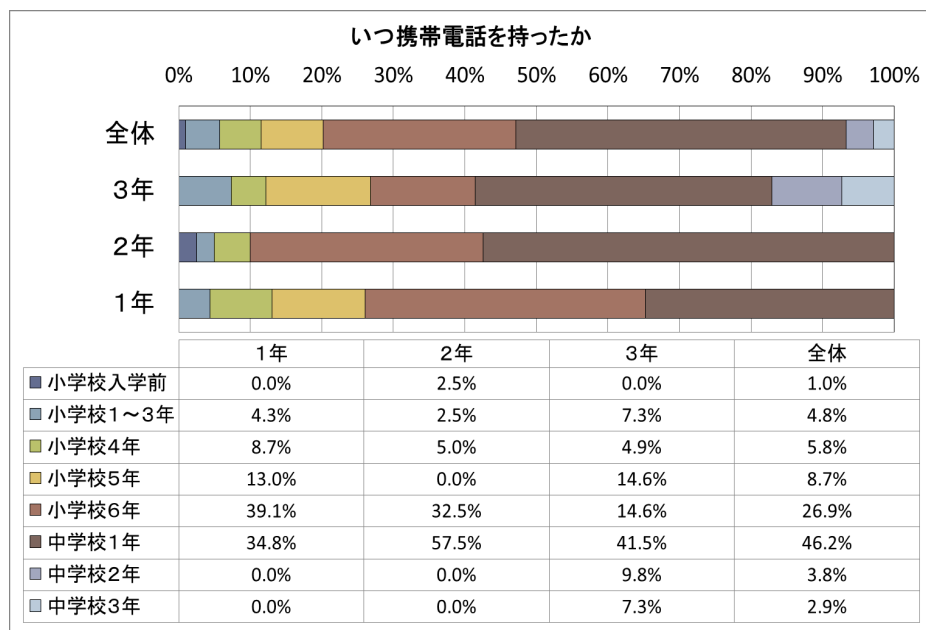


長南中学校は携帯使用（所有率）は平成25年度の内閣府が公表した中学生の所有割合の4割台後半（46.2%）を大きく上回り、全体でも64%が所有している。  
 性差別でも内閣府の公表では中学生（男子：42.1%、女子：50.1%）であるが、中2でその数値を大きく上回っており、特に、中3の女子では91.7%が所有していると回答している。

# 携帯電話を所有し始めと携帯の種類

携帯を待ち始めたのは小学校6年から中学1年にかけて急増

携帯の種類は9割がスマートフォン

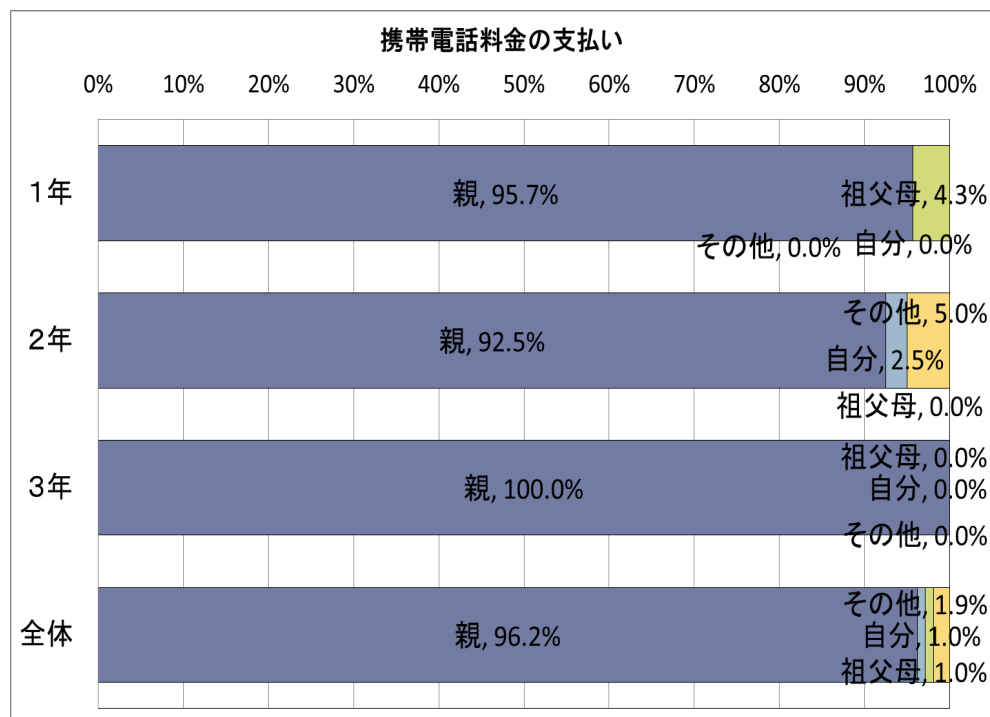


携帯を使い始めた時期は小学校6年生～中学1年生にかけて、急激に増えている。  
 中学1年生に関しては所有者の84%、中学2年生については90%がこの時期である。ここ1、2年でスマートフォンが普及したこととの関連性。また、中学入学をきっかけに、また、安全面への配慮などから所有させていることが考えられる。

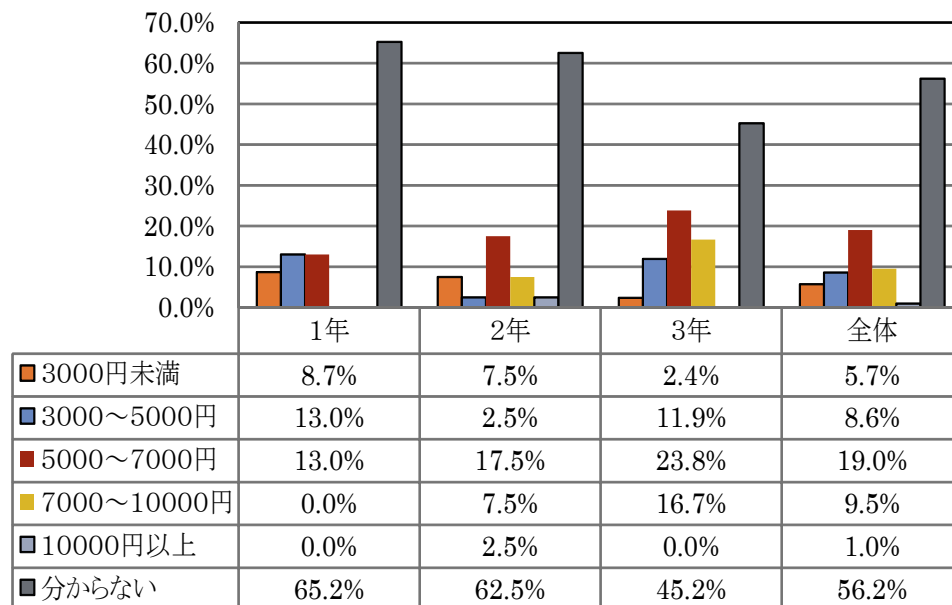
内閣府が平成25年度公表した調査結果（平成24年調査）では「スマートフォン」の使用25%と比べると、その割合は明らかに高くなり全体では90%を超えた。これは昨年来から、社会全体がすでにガラケーからスマートフォンに移行しつつあり、急速に普及している。スマートフォンの利便性と機能性が関与していることと結びつくと思われる。

# 携帯電話の支払いと利用料金

携帯料金の支払いはほとんどが親、使用料金は知らない生徒が6割弱



携帯電話の利用料金



携帯の支払いは当然のことではあるがほぼ親が行っている。その金額については「1，2年には6割以上が知らない」のが実態である。また、全体の10%は7000円以上支払っており、保護者にとってはこの通信料金は経済的負担になっているのではないかと考えられる。

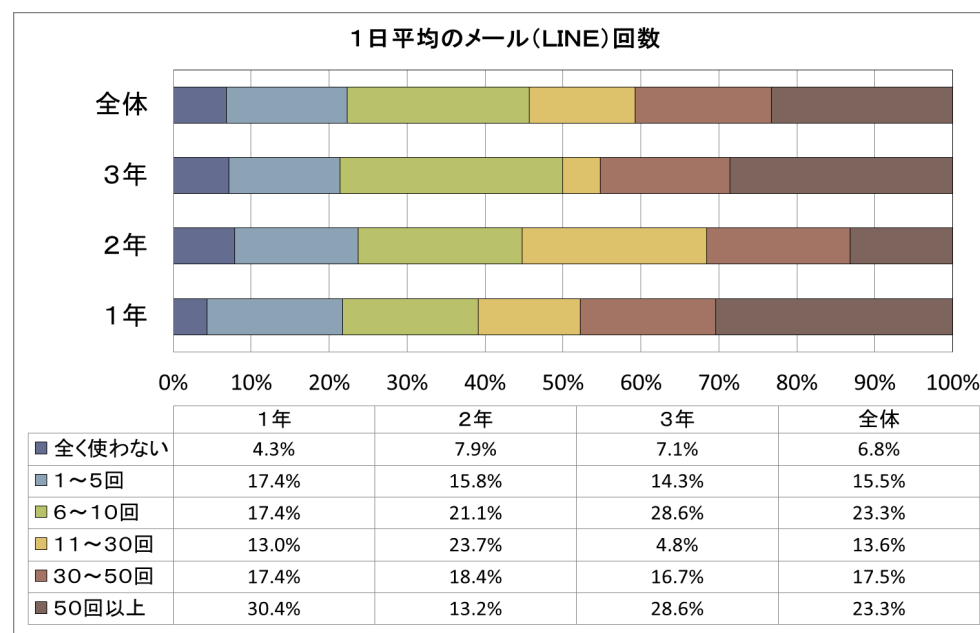
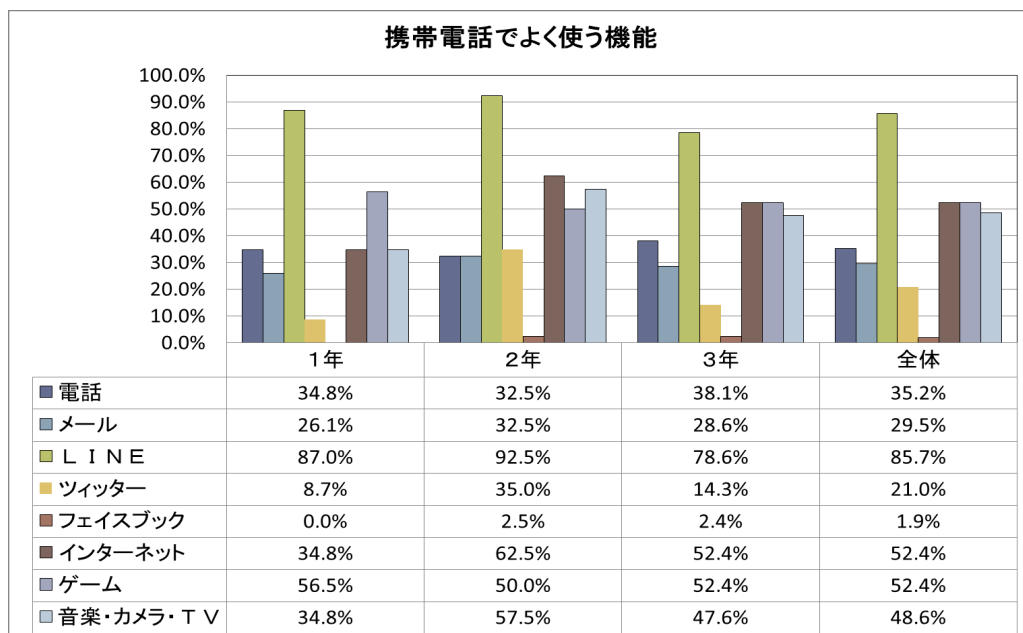
## ポイント1

中学生であるので、携帯料金にかかる親の経済的負担を知ることが大切である。「わからない」と答えた生徒には、今月いくらかかったかを教え、また、パソコン等の通信料とあわせた金額について伝えていただきたい。

もし、可能であれば家計の中の通信料と教育費等についても話しあってみてはどうだろうか。

# 携帯電話で使う機能

携帯の使う機能として今一番多いのはLINE、インターネット、ゲームなどインターネットメッセンジャーと趣味への活用問題は1日平均の使用回数・・・30回以上のやりとりは40%超え



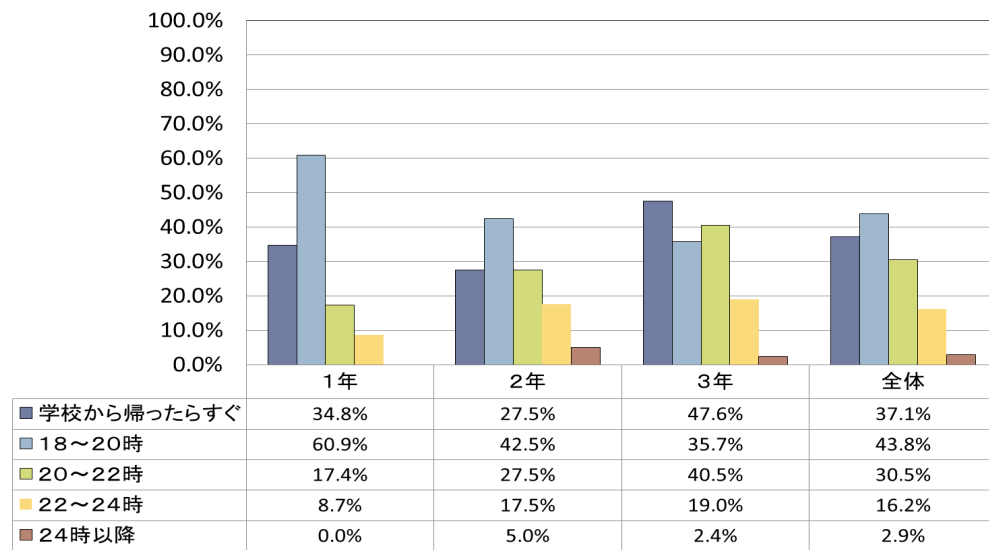
携帯で使う機能で最も多いのは LINE で各学年とも突出している。全体でも 85% を超え、次に多いインターネット・ゲームの 52% を 30% 以上多くなっている。  
 電話の利用は各学年とも、35% 前後、メールについては約 30% の利用であった。  
 このことから、携帯は電話の機能以外のインターネットを介してのメッセンジャーやゲームなど趣味に活用していることが分かる。

利用率が最も多いのは LINE であったことで、メール (LINE) 回数で回答している多くは LINE の利用と考えられる。  
 1日に30回以上やり取りをする割合は40%を超えている。  
 (実人数42名)  
 さらに、50回以上の利用が23%を超えていることから。携帯を利用している4人に1人は50回以上のやり取りをしていることになる。(実人数24名)

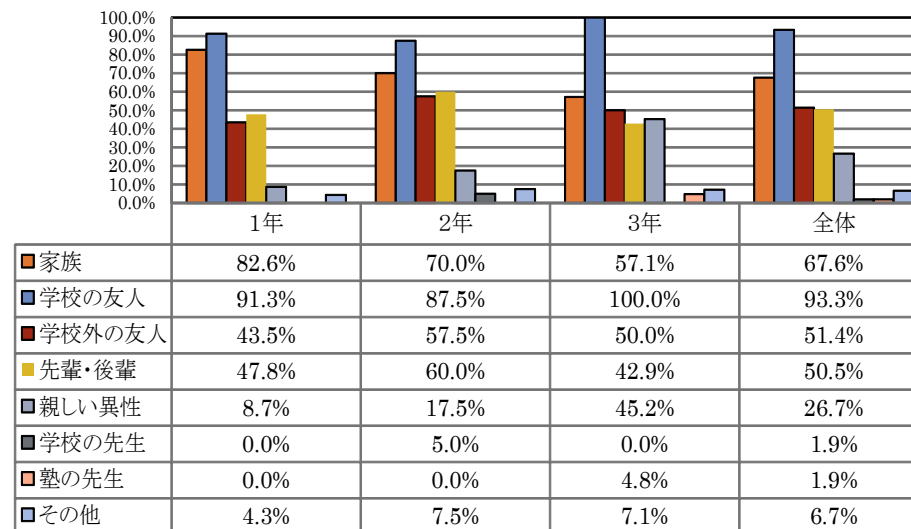
# メール(LINE)の時間帯と相手

メール(LINE)をやる時間帯は広い。メール(LINE)相手は学年が上がるにつれ、家族から友人へ。

メールをする時間帯



メール相手



メール (LINE) をやる時間帯は、全体では「学校から帰ってすぐ」から22時まで30%から44%前後で推移していて、2~3人に1人になっていることになる。

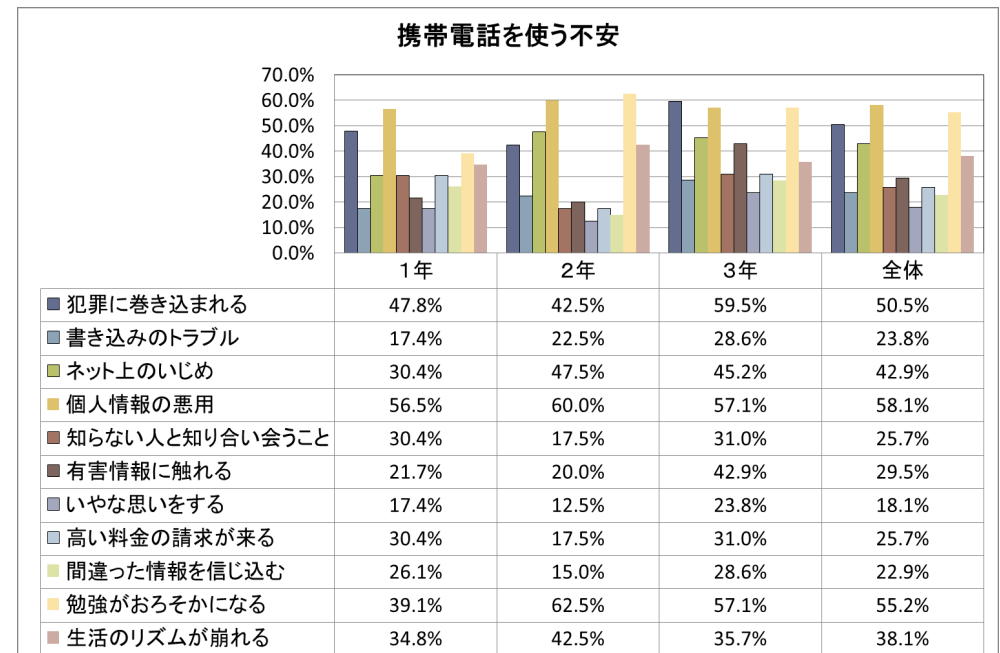
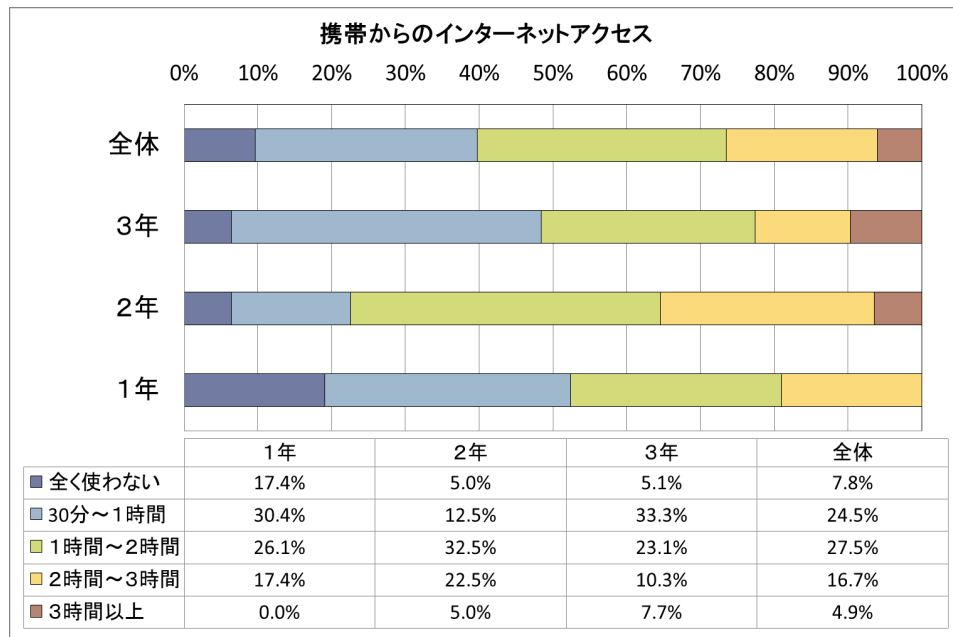
学年別では1年生は18時~20時までの割合が高いが、学年があがるにつれ、遅い時間帯での使用が増えている。22時以降でも16%が、24時以降の使用についても約3%が回答している。

メール (LINE) の相手は家族から、友人へ。1年生では家族へのメールが80%を超えるが、3年では60%を割っている。これは携帯の使用目的が、家族への連絡から友だちとのコミュニティー手段に変わってきていることと関係があるものと思われる。3年生は100%が回答。



# 携帯からのインターネットアクセスと使用上の不安

携帯を使ってのインターネットアクセスをしている生徒は92%。その時間は30分から1時間、1時間から2時間で50%を超える。携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」が半数以上。



携帯からインターネットにアクセスする時間は「1年は全く使わない生徒」が18%、最も多い「30分～1時間」とあわせると約半数となる。2、3年生は「全く使わない」は5%である。2年生は「2～3時間」が約1/3、3年生は「1～2時間」が約1/3である。

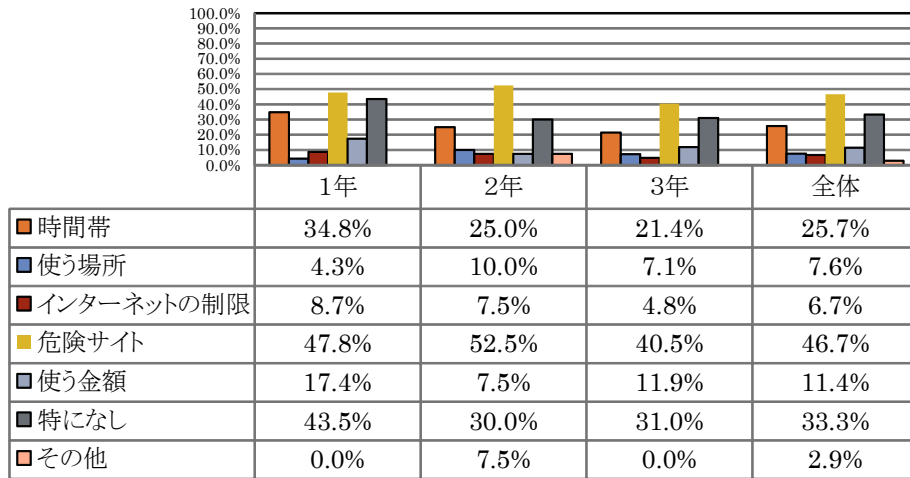
このことから受験までまだ時間がある2年生は携帯に依存しつつある傾向が見られる。

携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」が半数以上。また、次いで「ネット上のいじめ」への不安や「生活のリズムが崩れる」ことに対する不安をあげている。実際に、ネットへのアクセスの時間やLINEの使用状況と比べてみても、「勉強がおろそかになる」「生活のリズムが崩れる」は起きている可能性が否めない。

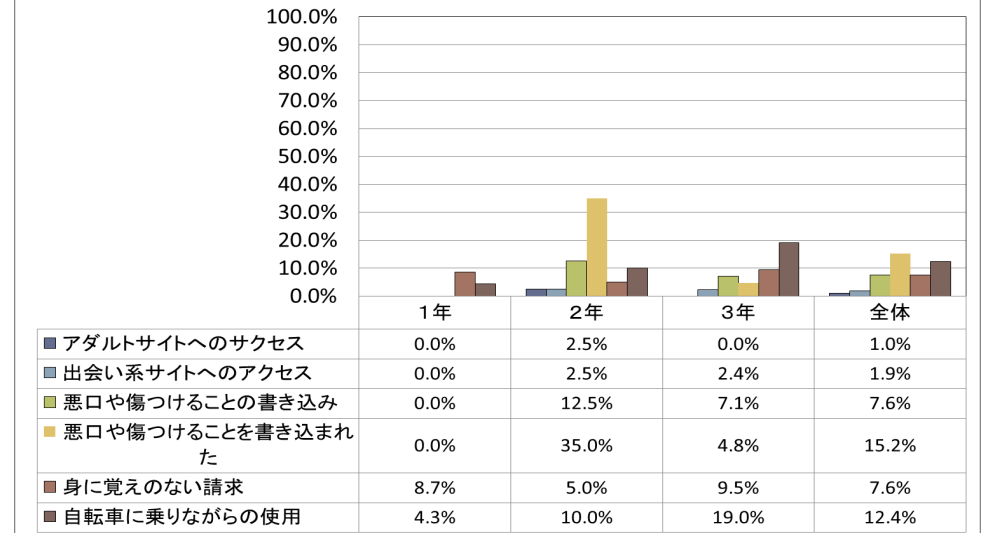
# 携帯使用上の保護者との約束ごとと実際に経験していること

携帯の使用上で保護者との約束ごとで3人に1人は「特になし」と回答。使う時間帯の約束は25%「危険サイトアクセス」は約47%。しかし、「悪口や傷つくことの書きこみ」では2年生1/3が経験している。交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意が必要！

保護者との約束ごと



携帯電話で経験したこと



携帯の使用上で保護者との約束ごとで3人に1人は「特になし」と回答。使う時間帯の約束をしているのは25%であった。このことは前の「携帯電話とインターネットアクセス」や「メール・LINE」の回数、時間とも関係があると思われる。「危険サイトアクセス」も約47%が行っている。携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」「有害な情報にふれること」とも関わりがあるものと考えられる。

携帯で経験していることで、「悪口や傷つける書きこみ」に関することが特に中2に多くみられる。聞き取り調査からLINEを使っていることがほとんどであった。

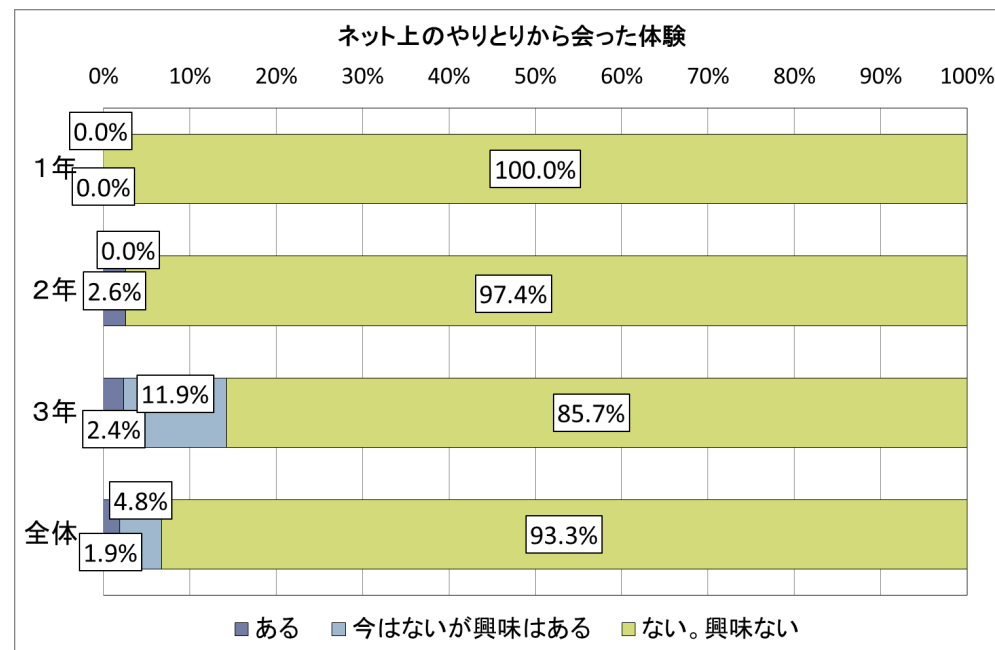
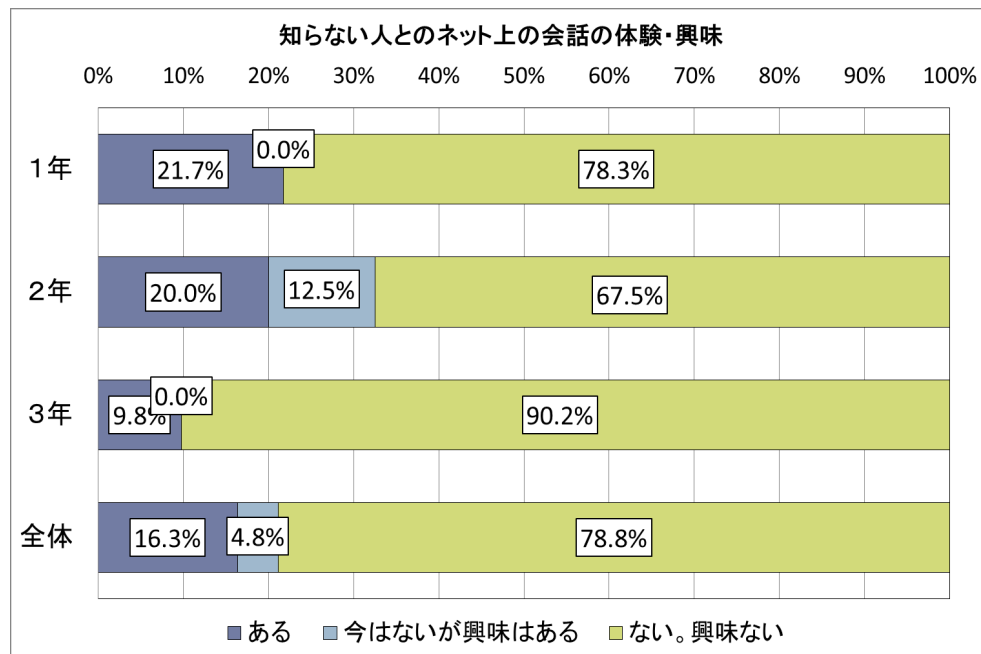
また、交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意が必要である。

## ポイント2

「生活のリズム」「学習への影響」「犯罪やトラブルに巻き込まれない」ために保護者との約束ごと、取り決めは不可欠！  
道徳教材「いつのまに…」を使っての学習や学級指導で携帯の「光と影」についての学ばせる必要がある。

# ネット上の経験と興味

ネット上で知らない人との会話に対し興味を持っている生徒は1, 2年生で20%。会ったことのある経験は2%(2人)いる。



ネット上で知らない人と会話することに興味を持っている生徒は、1, 2年生で約20%いる。

携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれていることについては指導していかななくてはならない

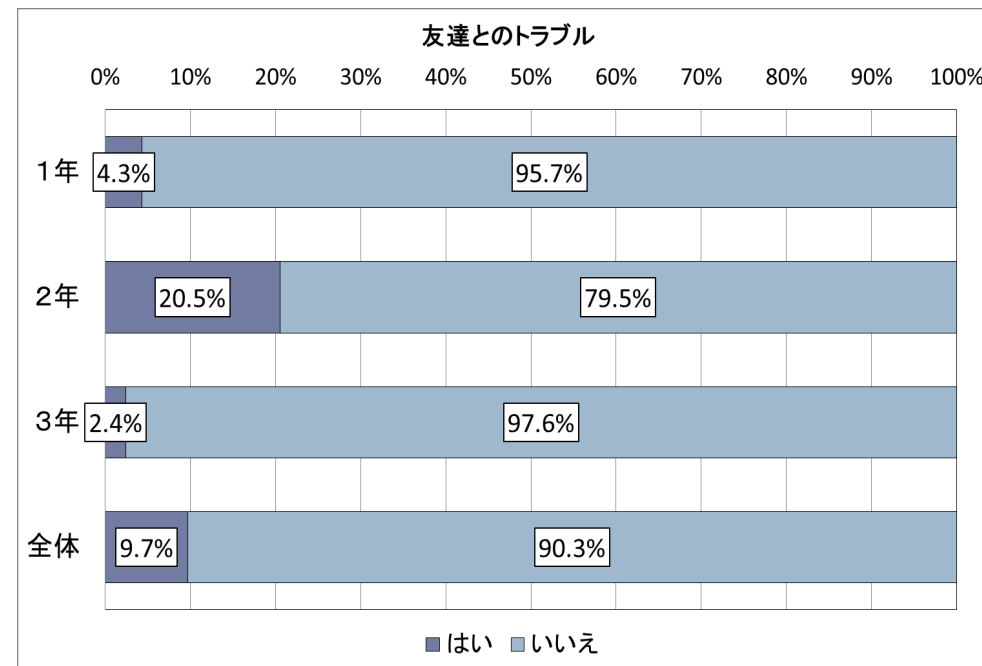
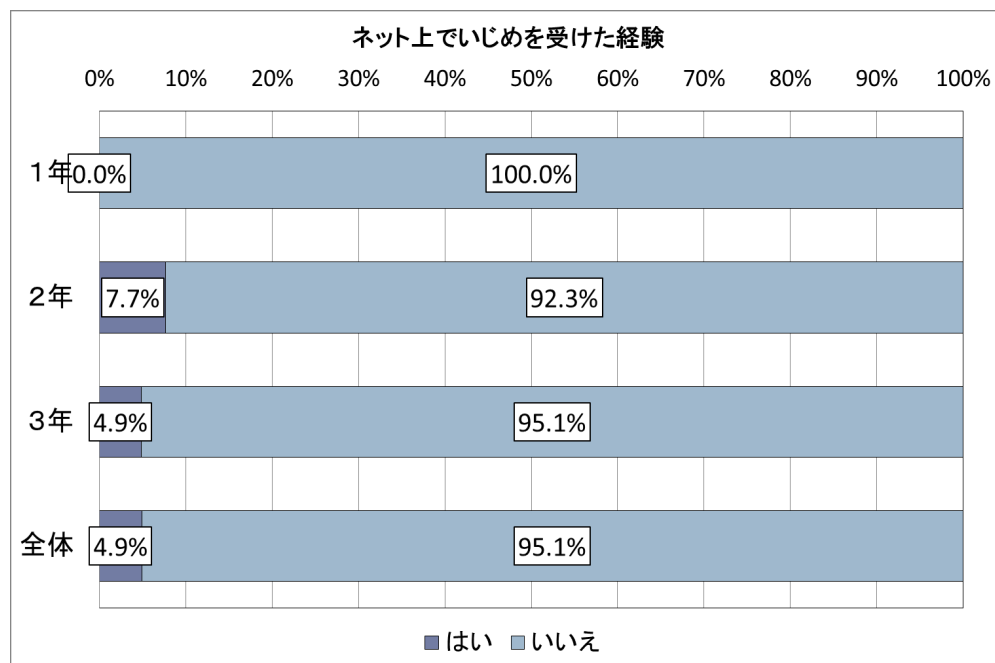
ネット上のやりとりから実際にあった経験がある生徒は全体の2%(2名)で女子生徒であった。また、実際に会ってはいないが「会うことに興味がある生徒」は3年生で10%を超えていた。

## ポイント3

携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれていることについては指導していかななくてはならない。

# ネット上のいじめとトラブル

ネット上でいじめを受けた経験は全体では5%であるが、2年生がやや多い。また、友だちとのトラブルになった経験も全体では10%弱であるが、2年生は20%を超えている。



ネット上でいじめを受けた経験は、2、3年生に「ある」と答えている生徒がいる。2年生は3名。3年生は2名である。

ネットを通して、友だちとトラブルになった経験がある生徒は2年生で20%を超す。全体でも10%弱ではあるが、トラブルになった原因については早急に突き止める必要がある。

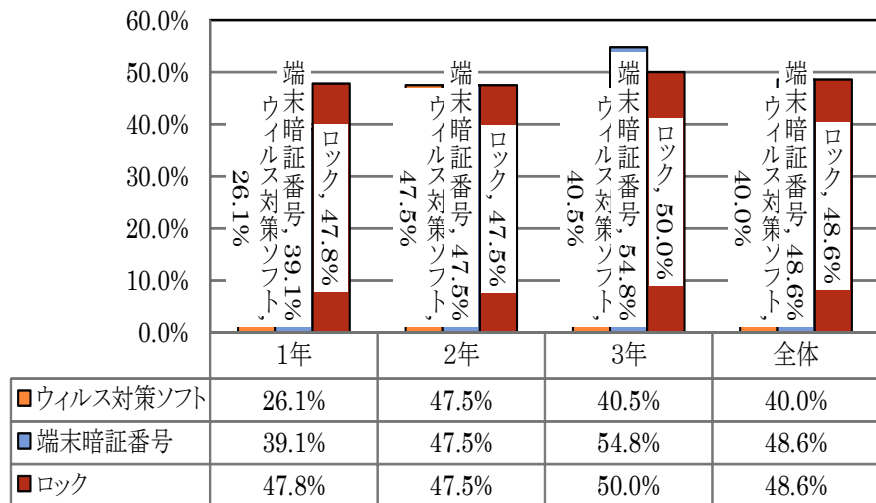
## ポイント4

ネット上のいじめについては早急に教育相談で確認をしなければならない。また、トラブルになった内容や原因について、教育相談や生徒指導部会を開いて確認する必要がある。

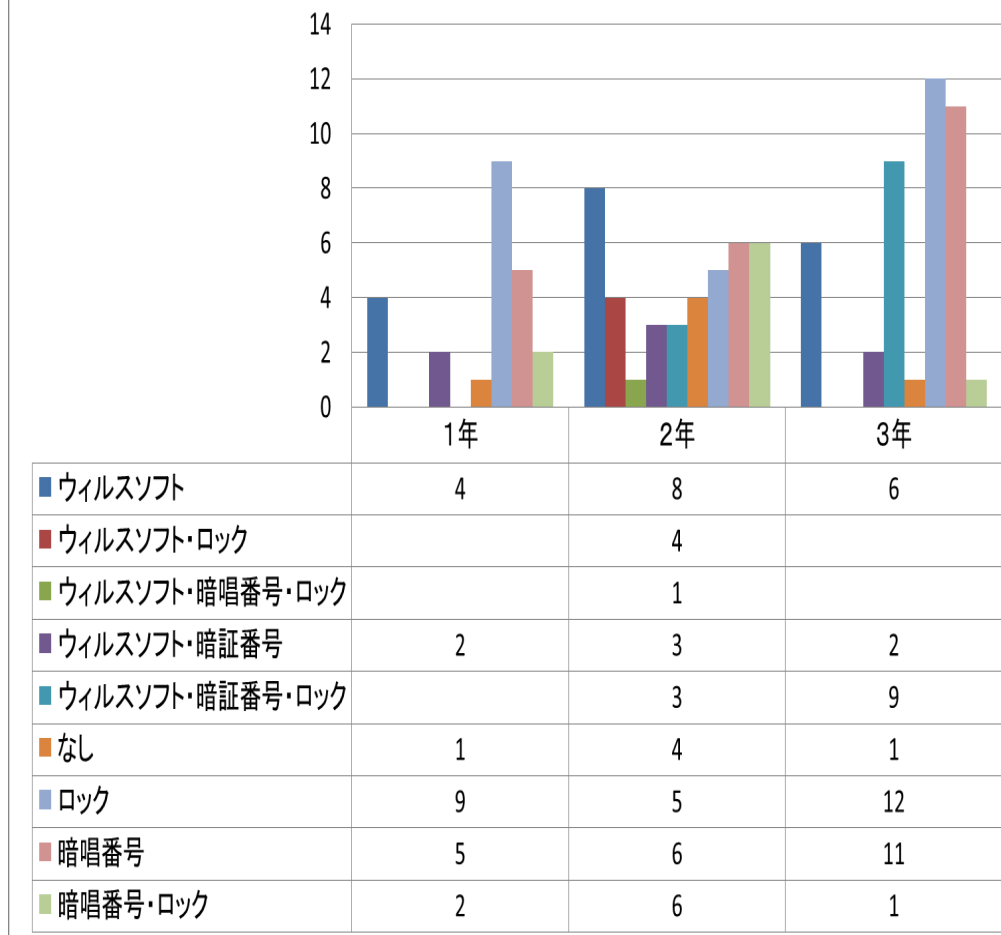
# セキュリティー対策とフィルタリングの使用状況と必要性

ネット上でセキュリティー対策を講じているのは「ソフト」「暗唱番号」「ロック」すべて4割台。対策をしていないのは6名。フィルタリングについては36%がわかっていない。

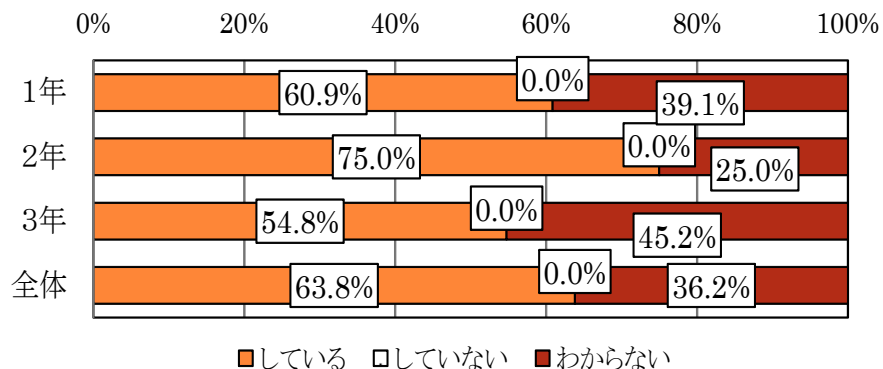
セキュリティー対策



セキュリティー対策(人数)

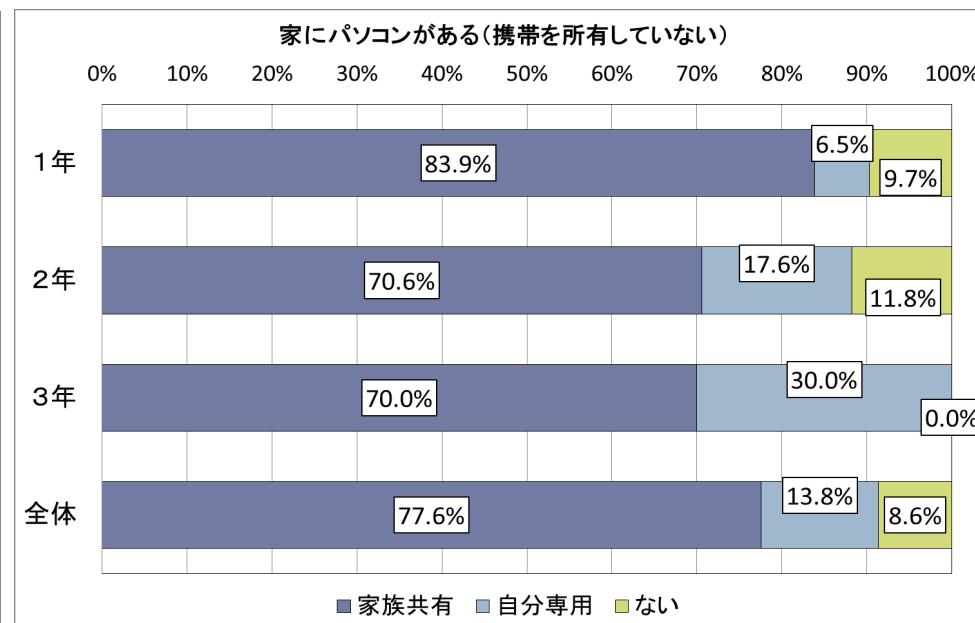
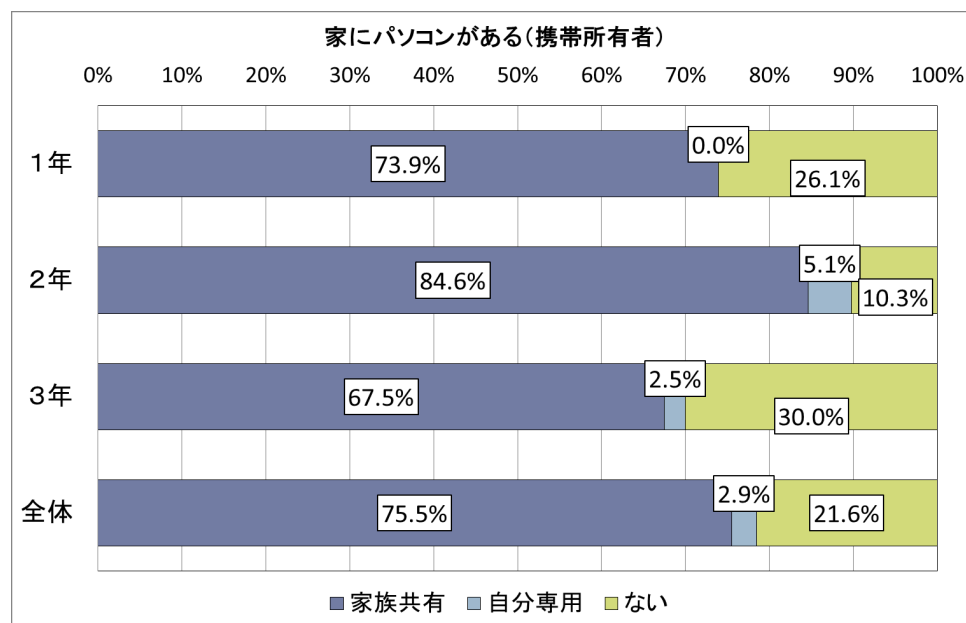
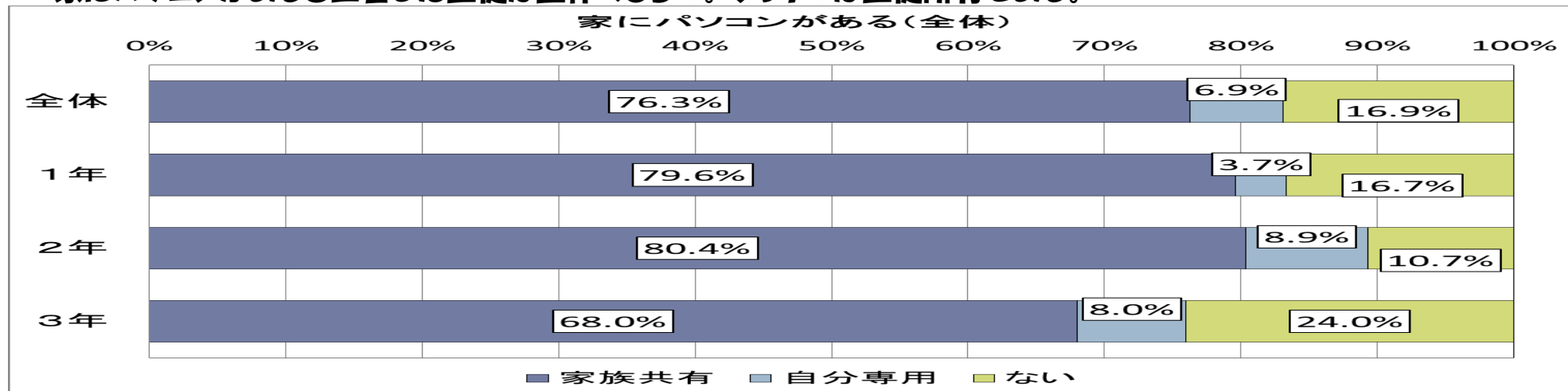


フィルタリングサービス



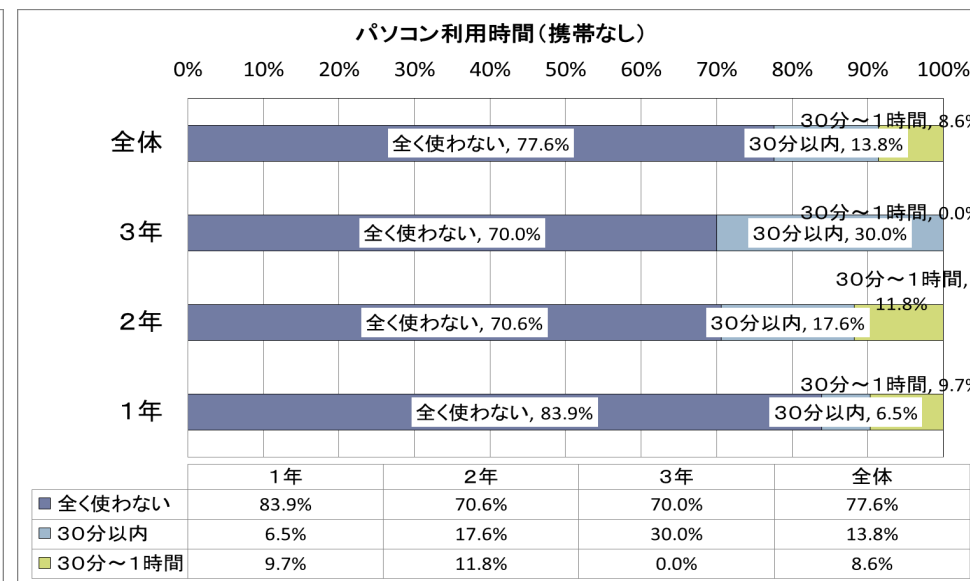
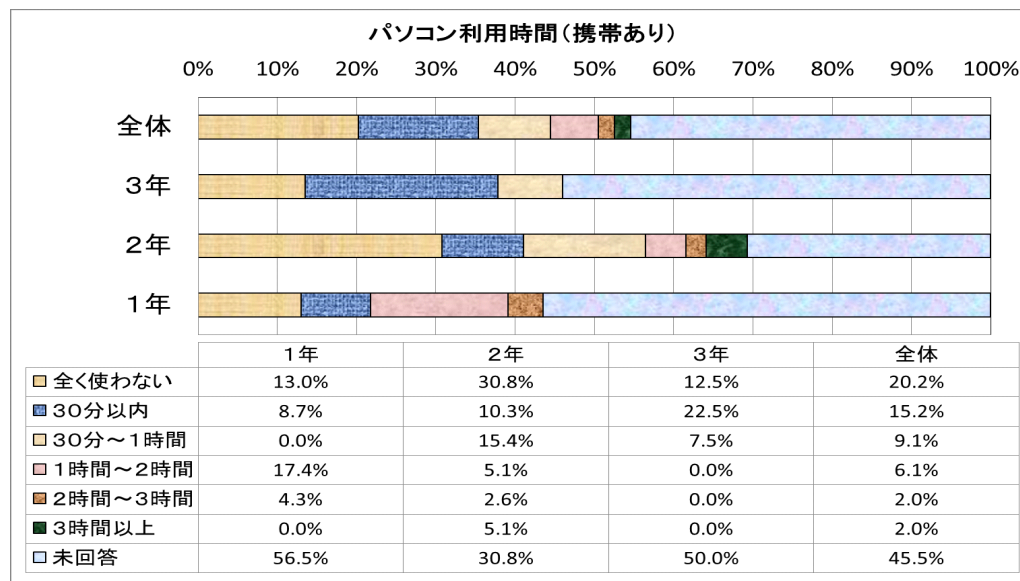
# 家庭でのパソコン所有状況

家にパソコンがあると回答した生徒は全体の83%。うち7%は生徒所有である。



# 家庭でのパソコン利用時間

パソコンの利用時間は携帯を所有している生徒の方が時間が長い。2年生はパソコンの利用率は他学年に比べ低い。

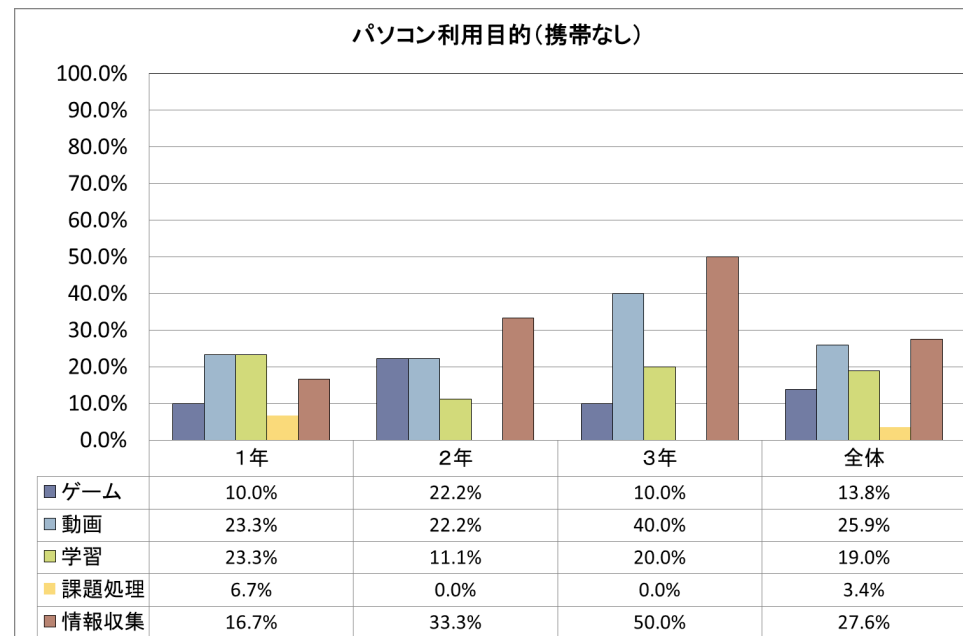
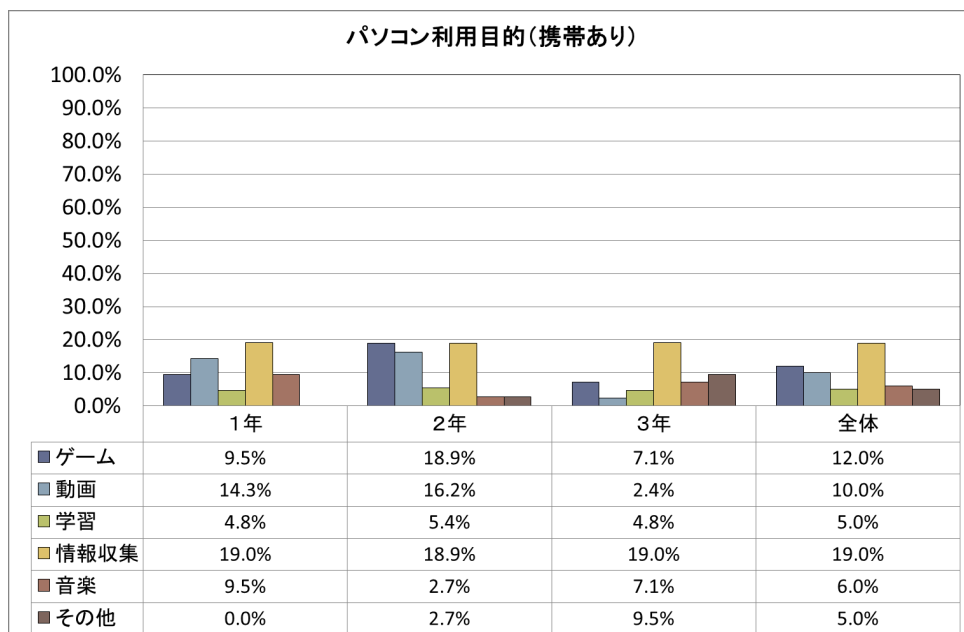


携帯を所有している生徒が家でパソコンを利用している割合は、未回答が多かったため、全体の傾向が正確にはつかめませんが、2年生はパソコンは他学年より、利用率は低い。

携帯を所有していない生徒は、パソコンの利用率も低い傾向にある。

# パソコン利用目的

パソコンの利用目的は様々であるが、携帯の所有の有無に関わらず、情報収集に利用することが多い。学習ではE-ラインズの活用を推進しているが、あまり活用されていない。



パソコンの利用目的は情報収集で約20%利用されているもの、全体的には、あまり利用していないことが分かる。

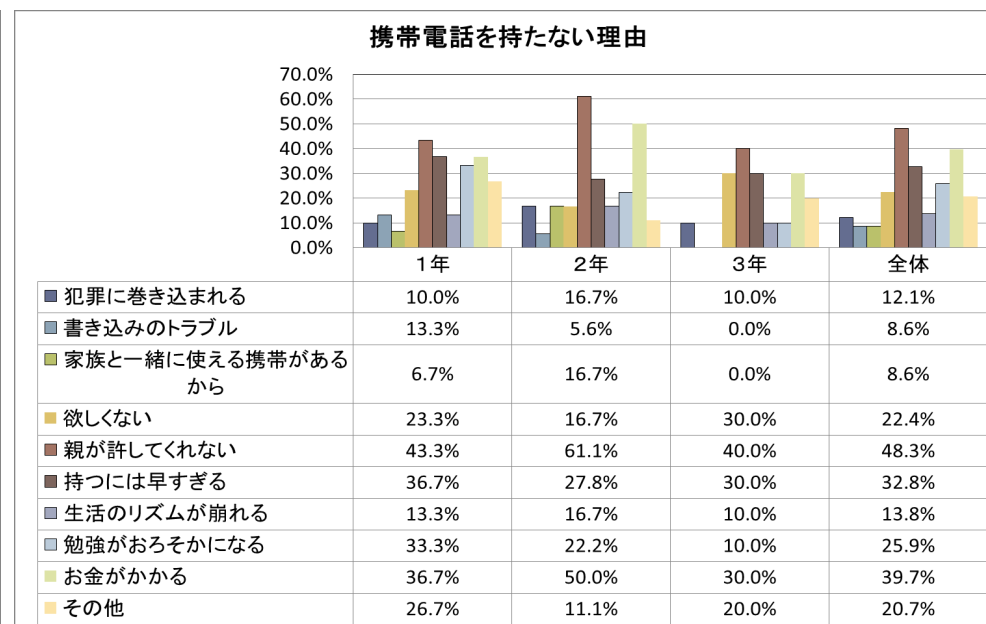
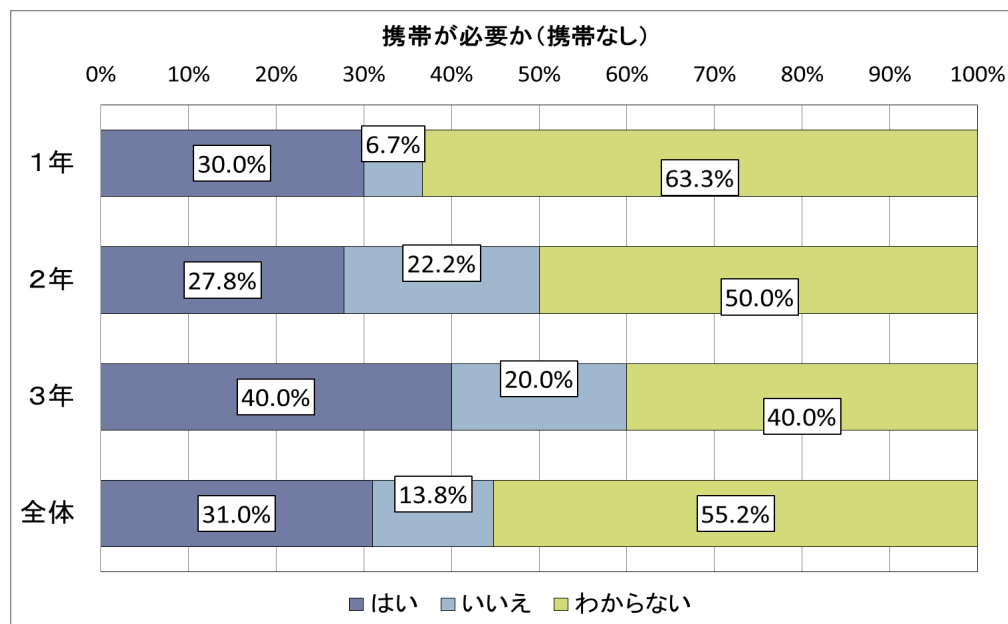
学習については、家庭学習にE-ラインズの活用を推進しているが、全体では5%程度にとどまっているので、今後いかに活用させるかが課題である。

携帯を持っていない生徒も、情報収集にパソコンを利用することが最も多く、その傾向は携帯を持っている生徒より割合が高い。携帯があれば、携帯を使って情報を収集するが、持っていないため、パソコンを使って収集しているものと思われる。



# 携帯を持たない人の意識

携帯を持っていない生徒の30%程度しかその必要性を感じていない。  
 持たない理由は、「親が持たせてくれない」「お金がかかる」ことが主な理由である。



携帯を持っていない生徒の30%程度しかその必要性を感じていない。3年生は40%が必要と感じている。

携帯を持たない理由は「親が許してくれない」「お金がかかる」などが上位を占めている。次いで、「勉強がおろそかになる。」があげられている。